

真鶴町 津波ハザードマップ

2023年発行

我が家の防災メモ (災害時の主な連絡先)

避難(集合)場所	
避難所	
緊急連絡先(親戚・知人等)	

防災行政無線の放送内容をもう一度聞きたいときは、0465-69-1890で聞くことができます。

真鶴町

情報 安否情報の登録・確認

災害時の声の伝言板 171 災害用伝言ダイヤル

災害時には電話が混雑し、家族と連絡が取れなくなる方が多くなります。そんなときには「171」をダイヤルし、利用案内に従って伝言の録音・再生を行ってください。利用の開始や録音件数(最大10件)など、利用条件についてはNTTが決定し、テレビラジオなどを通じてお知らせします。

録音方法 171→1→0465→自宅の電話番号 再生方法 171→2→0465→自宅の電話番号
案内放送が流れます。 市外局番が必要です。 案内放送が流れます。 市外局番が必要です。

※災害用伝言ダイヤルは、一般電話のほかにも公衆電話、携帯電話及びPHSからも利用できます。

災害用伝言板への安否情報登録及び確認方法

登録方法 ①Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択 → ②「登録」を選択 → ③「無事です」等の状態の選択と100文字以内のコメントを入力 → ④「登録」を押して完了

確認方法 ①Menu画面に表示される「災害用伝言板」を選択 → ②「確認」を選択 → ③安否を確認したい人の携帯電話番号を入力 → ④「検索」を押して伝言を確認

NTTdocomo <http://dengon.docomo.ne.jp/top.cgi> au(KDDI) <http://dengon.ezweb.ne.jp/> SoftBank <http://dengon.softbank.ne.jp/>

PHSやパソコンなどからも伝言が確認(災害時のみ)できます。 ※詳しくは、各携帯電話会社にお問い合わせください。

準備 非常持ち出し品チェックリスト

携帯ラジオ 電波や電圧の不安定に感ずれず、正しい情報を得るため、小型で軽巧FMとAMの両方が聴ける携帯ラジオとその予備電池を忘れずに。	飲料水・食料 食料は火を避けても食べられるものを水はミネラルウォーターなどを。乳幼児がいる場合は粉ミルクなど忘れずに。	生活用品・衛生用品 フライヤー、缶切り、トイレットペーパー、ティッシュ、ビニール袋、携帯トイレ、マスク、生理用品などを、乳幼児がいる場合は哺乳瓶などを忘れずに。
ライト・ろうそく 停電時や夜間の移動に欠かせないライトと予備の電池を、ろうそくはたくえて安定のよいものを忘れずに。	救急薬品・常備薬 ばんそうこう、ガーゼ、包帯、三角巾、消毒薬、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、鎮痛剤、目薬、ロゼットなどを、持病のある方は常備薬を忘れずに。	衣類 上着、下着、手袋、靴下、ハンカチ、タオルなどを、乳幼児がいる場合は靴おむつなどを忘れずに。
ヘルメット(防災ずきん) 屋根瓦や看板などの落下物から頭を守るためのヘルメット(防災ずきん)などがあると便利。	現金 現金は、紙幣と硬貨の両方を持っていると便利。	通帳類・証明類・印鑑 預金通帳、健康保険証、免許証、住民票の写し、印鑑などがあれば便利。

持ち出し袋の中身は、定期的な点検を。 せっかく揃えた持ち出し品も定期的な点検しないと使い物にならない場合があります。ラジオの電池や缶詰の賞味期限など半年に一度くらいは点検しましょう。

非常持ち出し品のほか、災害復旧までの「備蓄品」を家族全員3日分を用意しておきましょう。飲料水は一人3リットル、食料は一人3日分、乳幼児がいる家庭では、粉ミルクや離乳食を3日分備蓄しておきましょう。

●お問い合わせ 真鶴町 総務防災課 防災係 〒259-0202 神奈川県足柄下郡真鶴町岩244-1 2023年発行 電話番号 0465-68-1131 (代)

知識 津波災害とは?

津波についての知識を身につけよう!!

- 地震発生直後から津波の第1波が来る恐れがある。
- 津波の第1波は押し波または引き波で始まる。
- 津波は繰り返し襲来し、第1波が最大のこともあれば、第2波、第3波など後続波が最大になることもある。
- 津波は海岸付近でもオリンピックの短距離選手並のスピードがあり、津波が見えてからではとても逃げ切れない。
- 津波は沿岸の地形などの影響で局所的に高くなったり、強くなったりする。
- 津波予報区の数々の沿岸では予想された津波の高さより低かったり、到着時間が遅かったりすることがある一方で、場所によっては予想より高く、早く津波が襲来することがある。
- 津波の遡上は、一般に約1キロメートル浸水することに1メートル程度津波の高さが減少する。
- 津波は河川を遡上し、内陸で河川堤防を乗り越えて浸水してくる場合がある。
- 自然は不確実性があるため、想定以上の津波がくる可能性がある。一度避難しても気を抜かず、そこも危ないと感じたら、迷わずさらに海岸や河川から遠く離れた、高い場所に避難する。
- 過去の経験や記憶にとらわれず、これまで経験したことのない揺れを感じたら津波を連想し、ただちに率先して避難する。

津波発生と伝播のしくみ

津波の発生
 海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝播するものが津波です。
 「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震が発生させた地下の断層の傾きや方向によっては、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係によっては、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。津波は引き波で始まるとは限りません。

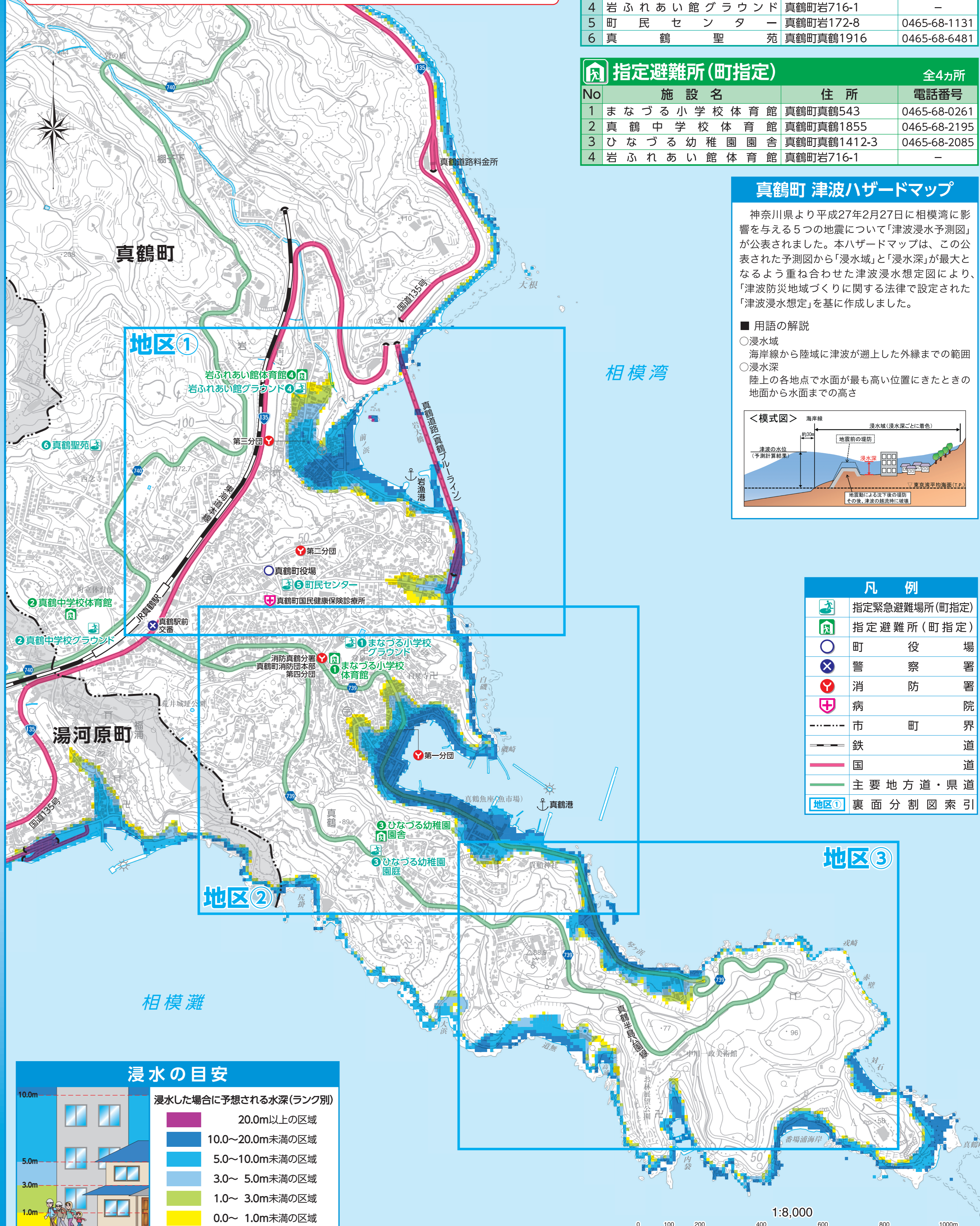
津波の伝わる速さと高さ
 津波は、海が深いほど速く伝わる性質があり、沖合ではジェット機に匹敵する速さで伝わります。逆に、水深が浅くなるほど速度が遅くなるため、津波が陸地に近づくにつれて減速した波の前方部に後方が追いつくことで、波高が高くなります。
 水深が浅いところで遅くなるといっても、人が走って逃げ切れるものではありません。津波から命を守るためには、津波が海岸にやってくるのを見てから避難を始めたのでは間に合いません。海岸付近で地震の揺れを感じたら、または、津波警報が発表されたら、実際に津波が見えなくても、速やかに避難しましょう。

地形による津波の増幅
 津波の高さは海岸付近の地形によって大きく変化します。さらに、津波が陸地を駆け上がる(遡上)することもあります。岬の先端やV字型の湾の奥などの特殊な地形の場所では、波が集中するので、特に注意が必要です。津波は反射を繰り返すことで何回も押し寄せたり、複数の波が重なって著しく高い波となることもあります。このため、最初の波が一番大きいとは限らず、後で来襲する津波のほうが高くなることもあります。

地形による津波の増幅の例
 V字型の湾では湾の奥にエネルギーが集中し、波高が高くなります。岬の先端では、津波が海岸線に対して平行になるようにエネルギーが集中し、波高が高くなります。

真鶴町津波ハザードマップ

大津波警報・津波警報・注意報が発表されたら
 ●大津波警報、津波警報及び注意報が発表されたときは、すぐに海岸から離れて、高台などの避難場所へ避難してください。
 ●注意報でも海岸付近は危険です。海水浴や磯釣り、行かないでください。
 ●津波警報等が出ている間は絶対に戻ってはいけません!



津波浸水想定図

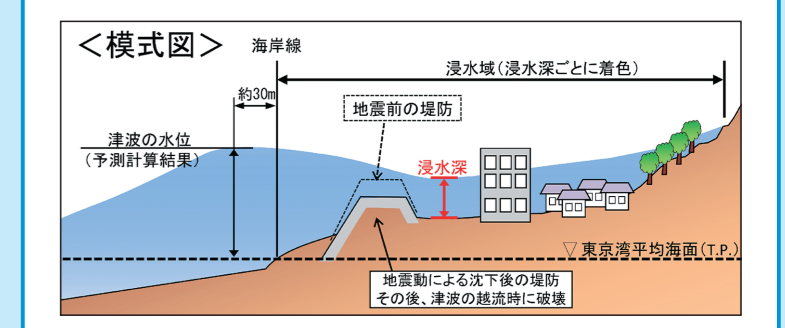
指定緊急避難場所(町指定)				全6カ所
No	施設名	住所	電話番号	
1	まなづる小学校グラウンド	真鶴町真鶴543	0465-68-0261	
2	真鶴中学校グラウンド	真鶴町真鶴1855	0465-68-2195	
3	ひなづる幼稚園園庭	真鶴町真鶴1412-3	0465-68-2085	
4	岩ふれあい館グラウンド	真鶴町岩716-1	-	
5	町民センター	真鶴町岩172-8	0465-68-1131	
6	真鶴聖苑	真鶴町真鶴1916	0465-68-6481	

指定避難所(町指定)				全4カ所
No	施設名	住所	電話番号	
1	まなづる小学校体育館	真鶴町真鶴543	0465-68-0261	
2	真鶴中学校体育館	真鶴町真鶴1855	0465-68-2195	
3	ひなづる幼稚園舎	真鶴町真鶴1412-3	0465-68-2085	
4	岩ふれあい館体育館	真鶴町岩716-1	-	

真鶴町 津波ハザードマップ

神奈川県より平成27年2月27日に相模湾に影響を与える5つの地震について「津波浸水予測図」が公表されました。本ハザードマップは、この公表された予測図から「浸水域」と「浸水深」が最大となるよう重ね合わせた津波浸水想定図により、「津波防災地域づくりに関する法律」で設定された「津波浸水想定」を基に作成しました。

- 用語の解説
- 浸水域
海岸線から陸地に津波が遡上した外縁までの範囲
 - 浸水深
陸上の各地点で水面が最も高い位置にきたときの地面から水面までの高さ



凡例	
	指定緊急避難場所(町指定)
	指定避難所(町指定)
	町役場
	警察署
	消防署
	病院
	市町界
	鉄道路
	国道路
	主要地方道・県道
	地区1 裏面分割図索引

情報 災害時の情報入手方法

町では気象警報や避難情報などを、次の方法で情報配信を行っています。災害時は「自分の身は自分で守る」ことが大切です。町民の皆さまも、複数の手段を活用して情報入手してください。

防災行政無線	屋外スピーカーを通じて緊急情報等をお知らせします。
防災行政無線 自動応答サービス	24時間以内に放送された防災行政無線の内容が電話で確認できます。放送内容を確認したい場合は電話で確認ができるテレホンサービスをご利用ください。 ☎0465-69-1890(通話料がかかります。)
全国瞬時警報システム(J-ALERT)	国が発信する緊急地震速報などを、防災行政無線を使って自動起動することにより、人手を介さず瞬時に住民等に伝達するシステムです。放送される緊急情報にご注意ください。
緊急速報「エリアメール」	避難情報、土砂災害警戒情報などの緊急性の高い情報を、町内に存在する携帯電話(スマートフォン)に一斉送信いたします。
テレビのデータ放送・ラジオなど	避難情報、土砂災害警戒情報などの緊急性の高い情報入手できます。

情報 真鶴町お知らせメール 登録手順のご案内

- 登録制メールについて
 町からの災害時の情報伝達や防犯情報、防災行政無線の放送内容などを、ご希望の電子メールアドレスへ配信するサービスを開始しました。本サービスをご利用いただくためには、メールアドレスへの登録が必要となります。登録方法が不明な場合は総務防災課防災係にお問い合わせください。
- 真鶴町お知らせメール 登録手順
- ご登録の前に
 ●メール配信サービスの利用規約に同意していただく上で、ご登録をお願いいたします。
 ●@xxxxxxドメインがある場合はxxxxxx@xxxxxxのドメインからのメールの受信を許可する設定を行ってください。
 ●URL付きメールの受信を許可する設定を行ってください。
- 1 空メールを送信します。
 サイトにアクセスし、[空メールを送信する]から空メールを送信します。
 ▼PC・スマートフォンの場合
<https://plus.sugumail.com/usr/manazuru/home>
- ▼フィーチャーオンの(ガラケー)場合
<https://m.sugumail.com/m/manazuru/home>
- ▼共通
 → 空メールを送信する
- 2 メールが届きます。
 メールに記載された登録用URLをクリックし登録に進みます。●フィーチャーオンの場合は異なるURLが表示されます。
- 3 利用規約を確認します。
 利用規約をご確認の上、[同意する] ボタンをクリックします。
- 4 配信カテゴリを選択し会員登録を行います。
 カテゴリを選択、登録情報を入力し、[確認画面へ] ボタンをクリックします。
- 5 入力内容を確認し、登録します。
 入力内容をご確認の上、[登録ボタン]をクリックします。登録完了画面が表示されたら登録完了です。登録後、登録完了メールが届きます。
- 6 登録情報変更・退会
 空メールアドレス宛にメールを送信します。返信メールから登録情報の変更などを行います。
 ●メールアドレス変更
 メールアドレス変更(編集)ボタンをクリックして手続きしてください。
 ●配信カテゴリ変更
 登録情報の[編集]ボタンをクリックします。配信カテゴリ選択画面が表示されるので内容を確認しながら画面を進めてください。
 ●退会
 登録情報の画面右上のメニューボタンをクリックし[登録解除]ボタンをクリックします。次の画面で[登録解除]ボタンをクリックしてください。